

1.計画名称

茅野市高齢者保健福祉計画(一般会計分)

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4評価)新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、各事業が本来の実施状況に戻ってきている。一方で、感染症を警戒した高齢者の外出控えが見られ、安心して社会生活ができる環境・体制整備が必要となっている。 (総括評価)高齢者関連事業を順調に実施。地域での支援体制整備をより進めていく必要あり。
今後の重点化施策番号	1	説明	今後も続く高齢者人口の増加と生産年齢人口(支援者)の減少により、また、在宅福祉の推進の観点から、高齢者の足の問題や見守りの体制整備等が優先される課題となる。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	生活基盤・セーフティネットの整備による在宅福祉の推進(1)	おおむね順調	(R4評価)外出支援事業は、順調な利用状況。福祉21茅野において、「のらざあ」の利便性の拡大について検討が進行。配食サービスの利用数が増加。 (総括評価)福祉21茅野の提言を踏まえ、高齢者の足の問題を改善に繋がっている。配食サービスの利用者が増え、見守りの体制整備が進んでいる。	(R4・総括評価共通) 公共交通機関に1人で利用するには難しいが、外出支援事業の対象とならない、制度の狭間にいる高齢者等の支援について、検討が必要。高齢者のみ世帯の増加に伴い、引き続き、配食サービスや生活支援体制整備事業において、地域での見守り体制等の構築を進める必要がある。	(R4・総括評価共通) 福祉21茅野のアンケート結果に基づく「のらざあ」への提言を検証すると共に、外出支援事業の利用対象者について検討する。 配食サービスや生活支援体制整備事業において、地域の支援体制の整備を進める。
2	健康増進による介護予防の推進(4)	おおむね順調	(R4評価)各事業とも感染症対策を継続しつつ、健診受診者の受診勧奨や、各種介護予防事業の参加者募集を行い、受診率の増加、参加者の増加につながった。 (総括評価)コロナ禍における受診率、参加者数の減少が見られたが、着実に元の水準に戻りつつある。	(R4・総括評価共通) 健診受診率の増加には、地道な個別勧奨が必要。介護予防講座の中で再受講者が増え、初回受講者を優先しているため、定員を超えた場合に受講できない状況がみられる。	(R4・総括評価共通) 保健事業と介護予防事業を一体的に実施していく。 定員を超える介護予防講座の応募に対して、受け皿となる地域の通いの場(脚腰おたっしや教室等)や民間のサービス等を紹介できるよう、ニーズ調査も含め検討する。
3	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進(3)	おおむね順調	(R4評価)高齢者クラブ、シルバー人材センターへの補助・助成を継続。高齢者福祉センターに除菌機能付きの空調設備を整備し、団体利用を再開。健幸ルムの事業を制限していた定員を拡充。 (総括評価)高齢者クラブの活動の縮小、組織率の低下が見られる一方で、介護予防事業や高齢者福祉センターの利用は活発。	(R4・総括評価共通) 高齢者クラブの役員の負担に起因する担い手不足などによりクラブの存続ができないところが出ている。 高齢者福祉センターの団体利用については、コロナ禍を経て、集団で飲食等をすることを控えている傾向にあり、利用が伸びていない。	(R4・総括評価共通) 市から高齢者クラブに依頼する補助金申請の書類等の事務負担を軽減できないか検討する。 高齢者福祉センターの団体利用を促進するよう、保健師等の出前講座等を紹介するなど、多様な団体利用の仕方を提案できるよう検討する。
4	利用者本位の福祉サービスの取組と支援(2)	おおむね順調	(R4評価)関係機関と連携し、各種事業を実施。生活支援体制整備事業について、4エリアごとの懇談により年度の目標を確認。 (総括評価)ふれあい保健福祉事業、認知症関連事業は、必要な方の利用が進んでいる。生活支援体制整備事業については、個別支援は進んでいるが、地域の支援体制整備の動きが鈍い。	(R4・総括評価共通) 市社協に委託する生活支援体制整備事業は、地域での通いの場づくりや地区の協議体での協議など、進んでいない部分があるため生活支援コーディネーターの資質向上や全体の統括機能の強化などテコ入れする余地がある。	(R4・総括評価共通) 市社協の生活支援コーディネーターが個々で活動することに加え、一同に会して、企画立案等ができる場を設けるよう検討する。
5	権利擁護の取組と支援(5)	おおむね順調	(R4評価)コロナ禍で介護サービス相談員の施設訪問を中止。成年後見支援事業において、2件の利用。 (総括評価)数年間、介護サービス相談員の施設訪問を中止しているが、虐待や苦情等の相談は少数。その他事業の取組は整調。	(R4・総括評価共通) 介護サービス相談員の訪問は、感染症対策による施設側の受入基準が緩和されないと、再開できない。	(R4・総括評価共通) 随時、介護施設に問い合わせ、受け入れ基準が緩和され次第、介護サービス相談員の訪問を再開していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		・高齢者の足の問題は、制度の狭間で困っている方に支援が行き届くよう支援が必要。 ・介護保険制度では不足する部分について、引きつづき市の事業(ふれあい保健福祉事業)が必要。	・福祉21茅野において高齢者の足の問題を検討いただき、結果を踏まえ見直しを進める。 ・ニーズ調査のうえ、行財政改革の考え方を踏まえ、事業のあり方を見直していく。
開催回数	1		
参加延べ人数	11		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			